

八ヶ岳 ジャーナル

株式会社ビー・エス・ワイ
八ヶ岳ジャーナル編集部
発行責任者 小泉 徹
〒408-0112
北杜市須玉町若神子3931
TEL0551-45-7789
FAX0551-35-9200

1982年12月創刊 発行日:毎月1日と16日発行
発行地域:北杜市(明野町・須玉町・高根町・大泉町・長坂町・小淵沢町・白州町・武川町)

6月定例市議会

観光振興や防災対策計上

増富の湯、来年1月まで工期延長

北杜市議会の6月定例会が9日に開会し、市は一般会計に6億3843万円を追加して、総額を355億1293万円とする補正予算案や条例の一部改正など16案件を提出した。会期は25日まで



6月定例市議会で所信の表明を行う大柴市長

の17日間で、各会派による代表質問は23日、一般質問は24日に行われる。開会した6月定例会で所信の表明に立った大柴邦彦市長は、最初に市内におけるクマの目撃情報に触れ、「防災無線によ

る周知や捕獲用の罠の設置、周辺の学校の登下校方法の変更など、体制を整えた。関係機関と連携し、人身被害の防止に努めていく」と語った。また、市政の状況については、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、農業や医療、介護・福祉サービス関係者への給付金制度を立ち上げていることや本年4月からの保育料の完全無料化のほか、観光振興や二酸化炭素排出抑制に向けた取り組みなどを説明した。

今年以上に提出した補正予算の主な事業については、昨年3月に山梨県が策定した「小淵沢エリア振興ビジョン」の推進事業として、1億9101万円を計上。国の地域未来交付金を活用し、小淵沢エリアの道路整備や電柱の地中化を進めるほか、スパティオ小淵沢の宿泊施設と広場の整備を予定していることや、滞在型体験プログラムの作成などを行うという。また、防災行政無線整備事業(1億7297万円)として、設置から10

年以上が経過して老朽化が進む防災行政無線設備の更新を行うほか、市民の熱中症対策に向け、涼み処開放事業助成金(400万円)を盛り込み、冷房設備のある公民館分館を涼所として一般開放した場合、日数に応じて助成金を交付する。観光客の移動手段の確保と交通空白の解消を目指す、公共ライドシェアの実証事業にかかる周遊観光促進事業(654万円)も計上。小淵沢町内で10月から来年1月まで

スマート農業推進へ

デジタルインフラの整備検討

スマート農業の推進に取り組み北杜市は、6月2日、GPS(衛星利用測位システム)などの衛星電波を利用して、トラクターのハンドル操作を自動で行う自動操舵トラ

クターの実演会を白州町内の畑で行った。市の農政課によると、現在、市内には自動操舵システムを搭載したトラクターが21台導入されている。自動操舵を誤差な

く精密に行うためには、衛星からの測位情報を補正するRTK基地局が必要で、市は、この基地局を地域農業の公共インフラとして整備する検討を進めている。

農政課の担当者は、「国産メーカーの自動操舵システムもここ数年で価格が下がってきているため、農家が導入を検討する機会が増えている。労働力の削減や負担の軽減につながるスマート農業の導入を支援していきたい」と話している。



自動操舵トラクターが、設定した間隔で誤差なく作業を行っているか確かめる市の職員たち

同日の実演会では、電波を受信するためのアンテナやモニター、モニター付きのハンドルといった後付けの自動操舵システムが設置されたトラクターを使って、畑の床掘作業を実施。市の関係者など約15人が参加し、1分間隔で誤差なく作業を行う様子を見学した。

北杜アニメトリウム協議会は6月7日、北杜市を舞台にしたTVアニメ「スパーカブ」のファンが集うイベントを武川町の甲斐駒センターで開催し、全国各地から約100人が参加して交流を楽しんだ。

この「スパーカブ」は、北杜市の高校に通う女子生徒が、スパーカブを通して

の夜間に実施する計画で、タクシー会社の空き車両を有効活用した運行形態を想定している。また、老朽化による改修工事が行われている須玉町の増富の湯については、地中に想定を超える巨石が埋まっていたことや中東情勢などの影響による建築資材の調達遅延に伴って工期が延長となり、追加の事業費(1232万円)を計上。施設の再開は今秋を予定していたが、来年1月になる見込み。

アニメファン

北杜で交流

海外来訪増加

北杜アニメトリウム協議会は6月7日、北杜市を舞台にしたTVアニメ「スパーカブ」のファンが集うイベントを武川町の甲斐駒センターで開催し、全国各地から約100人が参加して交流を楽しんだ。



北杜市の地域新聞

八ヶ岳ジャーナル、韮崎ジャーナルがスマートフォンで読める公式ライン「Webtoday」は、右のQRコードから登録できます。
(編集部 ☎0551-45-7789)



各種教習・講習受付中
夏休みシーズンプラン
受付中(予約はお早めに)
NAGASAKA Driving School
長坂自動車教習所
詳しい内容は ☎0120-32-0367
☎0551-32-3366
お電話で!

moving SAUNA
山梨住宅工業株式会社
ミサワホーム山梨工場
〒408-0021 北杜市長坂町長坂上条 2228-5
☎0551-32-3205
☎330yamamashi.jp
WOOD FIELD group
株式会社 住宅工業
株式会社 アイ・アール・アイ
リンクフューチャー株式会社
株式会社 L&D&K
株式会社 キタハラ
正社員募集中

精密部品加工・切削加工
株式会社 ドーベル
https://www.dober.co.jp
社員募集 職種:機械加工
お問い合わせは下記まで
北杜市長坂町塚川 2427-1
☎0551-32-3699

電池交換すぐ出来ます。
補聴器 貸し出し補聴器で体験して下さい
「北杜市補聴器購入補助金」
ご利用・ご相談承ります。
メガネ相談会
見え方でお困りの方へ
各種レンズのご提案・掛け具合の調整いたします
石川時計店
北杜市長坂町長坂上条 ☎32-2458

www.pika-dc.com 大泉町石堂交差点近く
Pika★ぴかいち歯科医院
★土・日曜日 診療しております。
北杜市高根町東井出 4986-1378
院長:奥津 光一郎
お気軽にご相談下さい ☎0551-46-1101

浅川兄弟を偲ぶ会が30周年

20人に感謝状を贈る



6月7日、高根町の八ヶ岳やまびこホールを会場にして「浅川伯教・巧兄弟を偲ぶ会」(清水光会長)の総会が開かれた。今回は会創設30周年記念の総会になり、総会後には記念講演と県立北杜高等学校ギター部を迎えた演奏が披露された。参加は約150人。

開会のあいさつに立った清水会長は「発足以来30周年の節目を迎えました」と会発足当時を紹介し、戦争が絶えない世の中に触れ、「浅川兄弟」の精神を一人でも多くの若者にお勧めしたいと述べた。

感謝状贈呈式が開かれ、元北杜市長の故白倉政司氏をはじめ20人に感謝状が贈られた。

感謝状贈呈者を代表して、市立甲陵中学校の古屋啓一校長が壇上に立ち、11年に上演が始まった演劇「種を蒔く人」(浅川巧)が文部科学省の人權教育の実践事例として取り上げられ、評価され

たことや今年2月に大韓民国外交部長官表彰を受賞したことを紹介し、「この栄誉を励みにして、今後も浅川巧の精神を学び、伝え続けることに、手を尊重し合う心を育む教育に努めたい」と受賞の喜びを語った。

記念講演には、日本民芸館の杉山享司常務理事を講師に迎え、「柳宗悦と浅川伯教・巧兄弟に学ぶ」を演題に登壇した。

杉山常務理事は、「浅川兄弟と柳宗悦は大変深い友情によって結ばれていた」と話し始め、柳宗悦の出生や浅川伯教が持つてきた朝鮮陶磁器によって東洋工芸に注目したこと、韓国の私立美術館の開館、木喰仏(もくじきぶつ)調査などを紹介した。(写真)

よる世界の文化統一の傾向に触れ、「小さくても個性のある多様性の文化が、その輝きを少しでも発揮できるように、そういった社会を目指すこと」と語った。

市と社協が協定締結

災害ボランティアセンター

大規模災害が発生したときに開設される「災害ボランティアセンター」の円滑な実施に向け、北杜市は6月8日、北杜市社会福祉協議会(坂本正輝会長)と協定を結んだ。

この協定では、大規模な災害が発生した場合に、両者が地域の被害状況や必要な支援に関する情報を速やかに共有し、相互に連携しな

らおうと、35年以上前にホテルで提供していたという「チーズケーキ」を復刻。参加者は懐かしい味に舌鼓を打った。

船木社長はロックの火災についても触れ「最近思うんですけど、今考えると運が良かったと思う」と振り返った。

このガイドは6月21日にも予定されている。午後1時集合。詳しくは左のQRコードから。

から災害ボランティアセンターを設置、運営するとしている。

北杜市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターの窓口となり、災害ボランティアの活動内容や募集といった情報発信から受け付け、各種相談移動支援などを行い、被災者への効果的で迅速な支援を図る。(写真)

同日の締結式では、大柴邦彦市長と坂本会長が協定書に署名し、大柴市長は、「災害ボランティアセンターの迅速な運営をはじめ、物資や人員支援、情報共有など、強固な協力体制をつくってきたい」と話した。

また、坂本会長は「被災者の一日も早い生活再建のためには行政と社協が緊密に連携することが大切。被災者のニーズと

食品の寄付募る 市役所で2日間

北杜ライオンズクラブ

ボランティアの力をつないでいきたいと語った。北杜市内では、2014年2月の大雪の際に災害ボランティアセンターが設置され、除雪作業の支援などが行われていた。

生活に困っている子育て世帯を応援しようとして北杜ライオンズクラブ(長田誠治会長)は7月13日と14日、食品の寄付を募る「フードドライブ」を行う。会場は、13日は須玉町の北杜市役所、14日は長坂町の長坂総合支

所で、午前9時から午後5時まで受け付ける。北杜ライオンズクラブでは、コロナ禍などをきっかけに5年前から市と連携してフードドライブを実施。学校給食がなくなり長期休暇に合わせて食品の寄付を集め、認定NPO法人フードバンク山梨を通じて子どもフードサポートを受けている家庭に届けている。

食品は、缶詰やカップ麺、レトルト食品、米菓子、飲み物などで、賞味期限が3カ月以上あり、常温保存が可能なのを受け付けている。

また、今回は、使わなくなった文房具も回収する。会場に必要な人に受け渡しも行う予定で、終了後に市に寄付する。問い合わせは☎42・1334まで。

萌木の村の社長がガイド 会社の歴史を語る



萌木の村株式会社の船木上次社長自らが萌木の村内を案内しながら、創業55年の歴史を振り返る「船木上次がもてなす」プレミアム萌木の村ガイドが5月24日に開かれ、開拓の歴史から現在に至るまで、その時々の転機や裏話を参加者に語った。(船木社長写真中央)

このプレミアムガイドは、昨年引き続き行われたもので、当日はオルゴール博物館の地下展示室に展示しているイヤープレートから案内が始まった。

船木社長は、1986年にイヤープレートの制作を始めたことやプレール来事、オルゴールを入手するための逸話などを移す

拓団についてやこれまでに出会った人々などを紹介しながら広場に移動し、ウイスキーやワインを貯蔵し、日ごろは非公開の「地下ワインセラー」を公開した。

このほかナチュラルガーデンズMOEGUIの整備について、ロックオーブンとバブル期の出来事など、多岐にわたった内容を語り、参加者が耳を傾けた。

ガイド最後のティータイムは、ホテルハット・ウォールデン内のレストランレストで行われ、萌木の村の歴史を辿っても

らおうと、35年以上前にホテルで提供していたという「チーズケーキ」を復刻。参加者は懐かしい味に舌鼓を打った。

船木社長はロックの火災についても触れ「最近思うんですけど、今考えると運が良かったと思う」と振り返った。

このガイドは6月21日にも予定されている。午後1時集合。詳しくは左のQRコードから。

住民が自主的に学び合っ て実践的な防災力を身につけ、助け合いの関係づくりを構築していくことの重要性を語った。

今後の活動については、地域の防災活動の要となる「地域減災リーダー」を増やすため、北杜市の出前塾を活用して地域減災リーダーの講習会を定期的に開催し、減災リーダーの連携強化を図るといふ。

また、親子向けの自然災害講座といったイベントのほか、地域課題への対応として、聴覚、視覚障がい者への支援体制づくり、市内の断層や河川、ダム等の災害リスクと対応、多国籍の人への支援などについて検討会を開くとしている。

防災に関する講座では、北海道大学の平川一臣名誉教授を講師に迎

え、糸魚川-静岡構造線活断層で地震が発生した場合の市内への影響や想定される災害を踏まえながら、自分でできる備えとして、国土地理院のウェブサイトを活用した「マイ防災マップ」づくりなどを学んだ。

渡来実行委員長は、「北杜市は過去に大災害の歴史があるものの、住民の防災意識が低いと感じている。まずは自分を守る力をつけ、地域防災力を高めていきたい」と話している。問い合わせは☎090・5827・6525(渡来)まで。

開く。清里駅前広場に午前9時集合。資料代300円。詳細は☎080・6538・2224(竹内)まで。

★夏季写真展 フォトクラブごぶしの「夏季写真展」が、7月1日から7日まで、長坂町のシヨッピングセンターきららシティで開催される。午前10時から午後8時まで(初日は正午から、最終日は午後4時まで)。問い合わせは☎090・8777・1339(氏原)まで。

■百韻句会 野外で俳句をつくる吟行句会の「百韻(ひやくてい)句会」が、6月27日に行われる。午前10時から須玉町の海岸寺で吟行し、句会は午後1時30分から長坂町農村環境改善センターで行う。参加費は100円。詳しくは☎080・66689・0851(北杜)まで。

★ダンディーズ公演 ダンディーズスイング・オーケストラが、6月21日に高根町の八ヶ岳やまびこホールで「コンサート20

26」を開催する。懐かしい曲から最新の曲まで14曲を予定しており、来場を呼びかけている。午後1時30分開場。入場は無料。詳しくは☎30・61111まで。



中学校統合準備検討委員会設立 新設2校の検討進む



市役所で開かれた中学校統合準備検討委員会の第1回会合の様子

市立中学校(甲陵中を除く)8校を2校に統合する計画を進めている北杜市は、新設統合中学校の開校に向けた準備や検討を行う「北杜市立中学校統合準備検討委員会」を設立した。5月29日に第1回会合が開かれ、北杜市校長会や同PTA連合会、代表区長会、学校運営協議会の代表者など20人の委員に委嘱状が交付された。

会合は市役所で行われ、開会のあいさつに立った小尾一仁教育長は、「少子化に伴い生徒数が減少するなか、子どもたちが質の高い教育を受け、多様な仲間とともに学び合いつながりながら成長できる環境を整えることが重要となっている。新しい学校づくりに関わるさまざまな事項について、活発な議論をお願いしたい」と話した。

議事では、市教委がこれまでの経緯について説明。教育環境の改善や持続可能な学校運営の実現に向けて、2019年に再設置された「小中学校適正規模等審議会」などでの議論をはじめ、地域説明会やワークショップの実施、新設校2校の設置候補地に「高根総合グラウンド・体育館敷地」と「旧県立峡北高等学校跡地」を選定したことなどを説明した。

委員からは、通学方法や校舎の跡地利用、新設校の設置候補地の選定理由と学校規模、事業の進捗状況を市民にどのよう周知するかなどの質問があり、最後に長坂正彦

中学統合と財政 学習講演会実施



市民有志でつくる北杜の教育・中学統合を考える会は6月4日、「中学統合とお金」をテーマにした学習講演会を長坂町農村環境改善センターで開いた。立命館大学の平岡和久名誉教授を講師に迎え、約50人の参加者が財政の観点から北杜市の中学校統合計画を考えた。(写真)

巡り、北杜市に再検討を求めようとする活動を行っている団体で、開会のあいさつに立った細川英雄共同代表は「市民との対話による再検討を求めている。何がどう問題で、対応すべき点は何かを多くの市民に知ってほしい」と話した。

講演で平岡名誉教授は、地方財政の仕組みから学校費用の算定方法、学校施設整備にかかる国の補助体制と物価高騰の影響などを説明。北杜市の財政状況や公共施設の管理計画に触れながら、「学校施設に対する国の財政措置は手厚いため、他の公共施設と同列では検討できない。統合と維持のコスト比較を徹底的に明らかにするべき」と話した。

一方、同会は翌日の5日、市役所を訪れて小尾一仁教育長と面談した。不登校や子どもの貧困の実態を踏まえた学校づくり、新設校での教育内容などについて、幅広い関係者や市民の意見を聞くこと、新設校2校の設置候補地が決まった経緯の説明などを求める要望書を提出した。

コンビニ交付10円

北杜市は6月1日から、住民票や所得証明書などをコンビニで発行する際の手数料を200円から10円にする取り組みを始めた。マイナンバーカードの利用が必要で、期間は来年3月31日まで。

現在、コンビニでは店内に設置されているマルチコピー機にマイナンバーカードを読み込ませると、住民票と印鑑登録証明書、所得証明書、課税証明書が発行することができる。北杜市民のコンビニでの発行割合は、

2025年度末で36.3%。今回の手数料の値下げは、コンビニ交付を利用するきっかけをつくり、その利便性を広く知ってもらうと企画したもので、コンビニ交付の普及による市役所窓口の混雑の緩和や待ち時間の短縮で、市民サービスの向上につながることを期待している。

また、市役所窓口での交付手数料は300円だが、市役所本庁舎正面玄関に設置されているマイナンバーカードを使った自動交付機でも10円となる。コンビニは、全国のセブン・イレブン、ローソン、ファミリーマートの土曜祝祭日も含め、午前6時30分から午後11時まで発行することができ、問い合わせは☎42-1331まで。

つじ祭り開催

恒例の「清里美し森つじ祭り」(同実行委員会)が6月7日、美し森で行われ、つじの再生

イベントに約200人が参加し、500本のつじの苗木を植樹した。今回のつじの苗木の植樹に参加したのは、県内外の参加者のほか、市内外の各種団体などで、式典閉会後、シャベルや水を持って、美し森へと足を運んだ。(写真)

苗木の植樹に参加した五味絆さん(明野小6)と大哉さん(明野小5)のきょうだいは、植樹に初めて参加したと話し、「きれいに咲くように願いを込めてプレートを掛けた」と次の苗木の植樹に向かった。

北杜市協賛会
北杜交通安全協会の定期総会が6月5日、長坂総合支所で開かれ、20

地域の窓をよくしたい!

先進的窓リノベ 2026事業!

省エネ効果の高い 高断熱の窓・ドアへの リフォームで

最大の100万円 補助金がもらえるチャンス!

夏の涼活 キャンペーン

300円 涼活 涼活 涼活

2026.5.1 - 8.31

お住まいにあわせた断熱商品と補助金額が一目でわかる!

窓・ドアリフォーム 省エネ補助金ナビ2026

1分 CHECK!

ここからチェック!!

こんな症状ありますか?

- ・ ネットが破損している、たるんでいる
- ・ ネットを押さえるゴムが劣化している
- ・ ネットを開けても隙間がある、網戸の動きが悪い

網戸の張り替え ご予約受け付け中! お問い合わせは下記まで

MADOショップの窓・玄関リフォームなら、アイテムポイント + ショップポイントで

Vポイントが貯まります。

工事や商品の支払いだけでお家にポイントが貯まります。貯まったポイントは、提携先で1ポイント=1円分として使いたいだけです。

たった一日で 取替える ドアリノ

見積り無料

省エネ補助金 相談受付中

リフォームしませんか?

台所のリフォーム お風呂のリフォーム 介護用のリフォーム 間取りのリフォーム

断熱窓・玄関、テラス、エクステリア、樹脂デッキ、各種建築資材、キッチン、バス、トイレ、外壁、各種リフォームの相談や太陽光発電システムなど、家のことならなんでもご相談を承ります。

25年度の事業報告と収支決算、26年度の事業計画案などが承認された。また、役員改選が行われ、新会長に浅川健一さんが就任した。

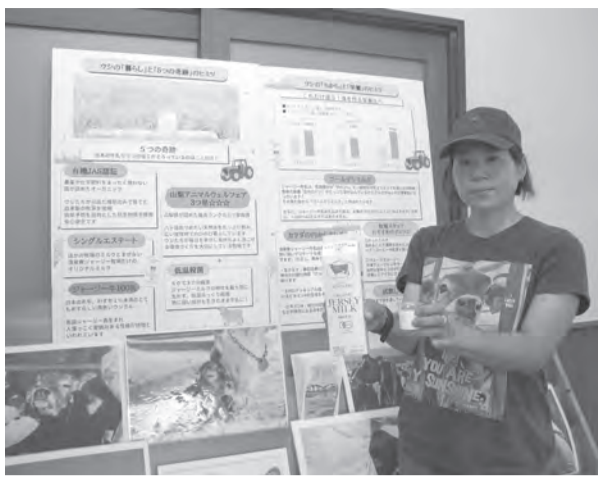
26年度は、全国交通安全運動における駅前や長野県境、主要交差点での街頭指導をはじめ、夏の県外車両に対する交通安全防止活動、飲酒運転の根絶のほか、学校や保育園、高齢者を対象にした交通安全教室などを実施するとしている。

また、同日は、交通安全に顕著な功労があった個人や団体の表彰が行われ、市立高根東小学校自転車クラブや北杜安協の役員を15年以上、10年以上務めた人など約20人を表彰した。(写真)

清泉寮ミルクフェア

有機ジャージー牛乳の魅力

有機ジャージー牛乳の美味しさや魅力を広く知ってもらおうと、高根町清泉のキープ協会は6月30日まで、「清泉寮の「世界牛乳の日」に合



クラブハウスで行われている特別展示と牛乳の試飲会

わせて初めて企画したもので、牛乳の試飲や特別展示などを行っている。キープ協会での酪農は、「清里開拓の父」と呼ばれるポール・ラツシュ博士が、1951年ごろに寒冷地や粗食にも耐えるジャージー牛を米国の篤志家から譲り受けたことがきっかけ。牛の糞尿を使った堆肥で牧草を育て、その草を牛が食べる「循環型酪農」を70年以上にわたって実践し、現在は、48畝の牧草地で約100頭のジャージー牛を飼育している。

清泉寮のジャージー牛の搾乳量は、1頭あたり1日8リットルほどで一般的なホルスタイン種に比べると4分の1程度と少ないが、ジャージー牛乳は乳

脂肪分やたんぱく質が多く、栄養価の高さから「ゴールデンミルク」といわれているという。クラブハウスで行っている特別展示では、有機JAS認証を受けた清泉寮ジャージー牛乳の魅力や希少性について、栄養価の高さをはじめ、単一牧場の生乳のみを使用し、低温殺菌で生乳本来の風味を生かしていること、動物福祉に配慮した飼育環境をつくり、「やまなしアニマルウェルフェア」の認証を取得していることなどを紹介している。

また、牛の体の仕組みや牛乳の製造工程を説明するパネルのほか、歴代のジャージー牛たちを紹介する写真コーナーを設け、牛乳の試飲会も開催している。期間は、6月16日から21日まで。問い合わせは清泉寮事務局(0551-42-2346)まで。

「武川衆」の歌と講演

演歌歌手・北杜さん

演歌歌手の北杜幸一さん(79・長坂町)が昨年4月に公開した楽曲「甲斐のつわもの武川衆」をテーマにした歌謡ショーと歴史講演会が、7月25日、武川町の甲斐駒センターせせらぎで開催される。北杜さんは「歌

と講演を通して地域の歴史のおもしろさや魅力を伝えたい」と話している。北杜さんは長坂町出身で、高校卒業後に地元の総合バルブメーカーに入社。45歳から技術職としてスペインの工場に出向し、55歳のときの帰国をきっかけに第二の人生を考えるようになり、子ども



の頃から好きだったという歌を本格的に始めた。仕事の傍ら歌の教室に通って練習し、全日本歌謡連盟(ジャパン

ミュージックユニオン)の全国大会など、さまざまな大会で優勝を重ねるようになり、その実績と実力が認められ、全日本歌謡連盟から打診を受けて、2008年2月にレコード会社の日本クラウンから「八ヶ岳」でデビューした。(写真)

「歌を通して地域の自然や文化、歴史を継承していきたい」と、これまでに南アルプスユネスコエコパークの登録を記念した「南アルプスの峰」や地元の魅力を詰め込んだ「富岡音頭」、「北杜音頭」、「神代桜」など約60曲を制作。「希望のさくら」は、東日本大震災の復興を願って、山高神代桜の子桜が岩手県大槌町に寄贈されたことをきっかけに制作したもので、毎年武川町の実相寺で行われる「東日本大震災慰霊音楽法要」に出席して歌を披露している。

25日の歌謡ショーでは、約10曲を披露する予定です。武川文化協会舞踊部や日野春洋文会、昭和町文化協会ダンス部が北杜さんの歌に合わせて踊るほか、NPO法人地域資料・デジタル化研究会の小林是綱理事長が「柳沢吉保父子と武川衆を語る」をテーマに講演する。歌自慢大会も企画し、広く参加者を募っている。

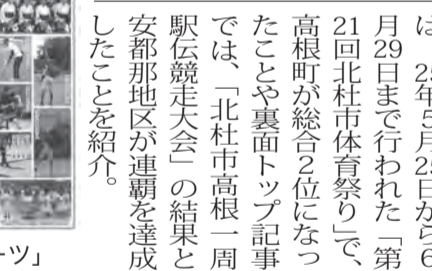
第1部の歌自慢大会は午前10時から、第2部の歴史講演会は午後1時30分から、第3部の北杜さんからの歌謡ショーは午後2時20分からとなっている。入場料は2000円(昼食代含む)。問い合わせは090・1651・7954(北杜)まで。

置し、牛乳の試飲会も合わせて行っている。期間中は、乳製品を3000円以上購入するとジャージー牛への餌やりが無料で体験でき、ポール・ラツシュ記念館でクイズに答えるとジャージー牛のステッカーをもらうことができる。酪農事業部の福井麻奈津さんは、「近年、牛乳

離れが進んでいるので、熱中症対策にもなる牛乳の良さや酪農家のさまざまな取り組みを知ってもらいたい、少しでも牛乳に親しんでもらえたらうれしい」と話している。クラブハウスでの牛乳の試飲と特別展示は、21日と28日の午後に開催している。問い合わせは0551-42-2111まで。

紙「高根スポーツ」を5月25日に創刊し、個々の活躍やグループ活動などを写真や文章で紹介している。この高根スポーツは、A3カラー両面印刷で500部作成。2025年度から取材活動を行う

い、1年間の主な出来事をまとめ、5月下旬から高根町内に回覧した。創刊号のトップ記事は、25年5月25日から6月29日まで行われた「第21回北杜市体育祭り」で、高根町が総合2位になったことや裏面トップ記事では、「北杜市高根一周駅伝競走大会」の結果と安都那地区が連覇を達成したことを紹介した。



そのほか、9月に行われた「山梨県民体育祭り」で、北杜市の代表として参加したサッカー部と綱引き部が優勝したことや11月に開催された「北杜市駅伝競走大会」で高根町が準優勝したことなど、町内のスポーツに関する出来事を分かりやすく紹介している。この高根スポーツの取材や編集で協力したツキオカデザインの間岡直毅さんは、「スポーツ新聞のような体裁、デザインを意識しました」といい、読んだ人からの感想も届いていると話している。問い合わせはメール takanesports2025@gmail.comまで。

スポ協高根支部 広報を刷新

北杜市スポーツ協会高根支部(古屋仁支部長)では、高根支部内の活動内容を広く地域の人たちに伝えて理解を深めてもらうため、スポーツ新聞のようなデザインの広報

「高根スポーツ」を5月25日に創刊し、個々の活躍やグループ活動などを写真や文章で紹介している。

この高根スポーツは、A3カラー両面印刷で500部作成。2025年度から取材活動を行う

マンション管理員 (パート)
60歳以上の方も応募可
仕事はマイペースOK
 ■お仕事 エントランスや廊下などの共有部分の清掃、除草、事務作業、受付など。
 ■勤務地 ベルクレール清里
 ■時給 1,100~1,200円
 週3日~4日程度(応相談)
 ■勤務時間 9:00~13:00
株式会社 誠心コミュニティー
 (電話連絡の上、面談)
 くわしくは、
☎0266-75-2885(片山)

田植え体験 暮らしと文化協



暮らしと文化協の指導のもと、参加者が田んぼで一直線に並び、左右に張った紐を目印にコシヒカリの苗を手植えました。(写真)

馬場代表理事は「耕作放棄地を活用しようというところで、今回は休耕地を使うことになった。交流人口を増やしていきたい」と話している。詳しくはホームページ <https://yatsugatake-lac.org/>。

定で、武川文化協会舞踊部や日野春洋文会、昭和町文化協会ダンス部が北杜さんの歌に合わせて踊るほか、NPO法人地域資料・デジタル化研究会の小林是綱理事長が「柳沢吉保父子と武川衆を語る」をテーマに講演する。歌自慢大会も企画し、広く参加者を募っている。

第1部の歌自慢大会は午前10時から、第2部の歴史講演会は午後1時30分から、第3部の北杜さんからの歌謡ショーは午後2時20分からとなっている。入場料は2000円(昼食代含む)。問い合わせは090・1651・7954(北杜)まで。

この高根スポーツは、A3カラー両面印刷で500部作成。2025年度から取材活動を行う

タイヤ特売
 タイヤのご相談お気軽にお問合せください

NEWNO プリチストン (155/65R14)
 1本 9,900円(税込)
 4台まで特別価格 特売価格工賃1本1,650円(税込)(処分費550円(税込))

K370 プリチストン (145/80R12LT)
 1本 6,390円(税込)
 4台まで特別価格 特売価格工賃1本1,650円(税込)(処分費550円(税込))

ENEOS 松野油店
 北杜市須玉町若神子1376
 ☎(0551)42-2806

定年後を考える無料講座

定年退職後のセカンドライフを豊かにするため、「今から始めるリタイアメントプランニング」と題した無料講座が、今年20日、葦崎市民交流ホールニコリで開催される。

この講座は、株式会社ピー・エス・ワイとアクサ生命株式会社の共催で開催されるもので、講師はアクサ生命株式会社甲府支社山梨北営業所の角野哲郎所長を迎える。

当日は「人生100年時代」といわれる現在、退職後の生活を中心に、「老後に必要な経費」や「健康寿命と平均寿命」、「セカンドライフの家庭経済」などについて紹介することになっている。

講座は、午後1時30分受け付け開始で要予約。入場無料。定員は20人。問い合わせは☎42・2346まで。

申し込み QR

出会い、迷い、歩み。すべてが今につながっている。自分史にしてみませんか？

株式会社ピー・エス・ワイ
 0551-42-2346
 info@morinchu.jp